

副首都に必要な広義のインフラ

必要な要素	具体例	現状評価
第7層 都市ブランドの刷新（都市間競争での差別化）	・脱ステレオタイプ（タコヤキ、タイガース etc） ・海外向け発信、万博の活用	
第6層 才能ある人材の誘引（人材育成環境）	・外国人学校、バカロレア対応 ・高校私学無償化 ・留学生向け奨学金 等	
第5層 産業支援体制の充実（企業支援）	・信用保証協会の経営統合 ・公設試験研究機関の一元化 等	
第4層 都市基盤の整備（成長の基盤整備）	・公共施設の機能強化（消防、防災、水道、 下水道、市場、港湾、病院 等）	
第3層 規制緩和 / 特区（ソフトインフラ）	・成長特区税制（地方税ゼロ） ・PMDA - WESTの誘致 等	
第2層 交通インフラの充実（ストックの組み換え）	・OTK売却 北大阪急行やモノレール延伸 ・関空・伊丹の経営統合とコンセッション 等	
第1層 公的事業債務の処理（負の遺産の整理）	・WTC ・りんくうゲートタワービル ・関西国際空港会社 等	